CLI を使用する

ONTAP Select

NetApp
November 09, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-select-9191/task_cli_signing_in.html on November 09, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

CLI を使用する 1
SSHを使用してONTAP Select Deployにサインインします 1
CLIを使用したONTAP Selectクラスタの導入 1
ステップ1：導入の準備 1
ステップ2：ライセンスファイルをアップロードして登録する 2
ステップ3：ハイパーバイザーホストを追加する 3
ステップ4：ONTAP Selectクラスタを作成して設定する 5
ステップ5：ONTAP Selectノードを設定する 6
ステップ6：ストレージをONTAP Selectノードに接続 8
ステップ7：ONTAP Selectクラスタを導入する 9
ONTAP Select 導入環境のセキュリティ保護 10
ONTAP Select ノード間のネットワーク接続を確認する 10
CLI を使用した ONTAP Select クラスタの管理 11
ONTAP Select Deploy構成データをバックアップする 11
ONTAP Selectクラスタを削除する 12
ノードとホスト 13
ONTAP Select 用に VMware ESXi 8.0 以降にアップグレード 13
ONTAP Select Deploy のホスト管理サーバーを変更する 17
Deploy ユーティリティ 18
ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする 18
ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する 20
ONTAP SelectイメージをDeployに追加 22
DeployからONTAP Selectイメージを削除 24
2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする 25

CLI を使用する

SSHを使用してONTAP Select Deployにサインインします

SSHを使用してDeploy管理シェルにサインインする必要があります。サインイン後、CLIコマンドを発行してONTAP Selectクラスタを作成し、関連する管理手順を実行できます。

開始する前に

デプロイ管理者（admin）アカウントの現在のパスワードが必要です。初めてサインインする場合で、vCenterを使用してDeploy仮想マシンをインストールした場合は、インストール時に設定したパスワードを使用する必要があります。

手順

1. Deploy仮想マシンの管理者アカウントと管理IPアドレスを使用してサインインします。例：

   ```
   ssh admin@<10.235.82.22>
   ```

2. 初めてサインインする際に、vCenterで利用可能なウィザードを使用してDeployをインストールしなかった場合は、プロンプトが表示されたら次の設定情報を入力してください：
   - 管理者アカウントの新しいパスワード（必須）
   - 会社名（必須）
   - プロキシURL（オプション）
3. **?** と入力して **Enter** を選択すると、使用可能な管理シェルコマンドのリストが表示されます。

CLIを使用したONTAP Selectクラスタの導入

ONTAP Select Deploy管理ユーティリティに付属のコマンドラインインターフェイスを使用して、シングルノードまたはマルチノードのONTAP Selectクラスタを作成できます。

ステップ1：導入の準備

ハイパーバイザー上にONTAP Selectクラスタを作成する前に、必要な準備について理解しておく必要があります。

手順

1. ONTAP Selectノードにストレージを接続する準備をします

   ハードウェアRAID

   ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用する場合は、システムデータ、ルートアグリゲート、データアグリゲート用に、各ノードで少なくとも1つのデータストア（ESXi）または1つの"ストレージプール（KVM）"を作成する必要があります。ONTAP Select ノードの設定の一部として、ストレージプールを接続する必要があります。

ソフトウェア**RAID**

ソフトウェアRAIDを使用する場合は、少なくとも1つのデータストア（ESXi）または1つの"ストレージプール（KVM）"をシステムデータ用に作成し、ルートアグリゲートとデータアグリゲート用にSSDドライブが使用可能であることを確認する必要があります。ONTAP Selectノードの設定の一部として、ストレージプールとディスクを接続する必要があります。

2. 利用可能な ONTAP Select バージョン

   Deploy管理ユーティリティには、ONTAP Selectの単一バージョンが含まれています。以前のバージョンのONTAP Selectを使用してクラスタをデプロイする場合は、まずDeployインスタンスに"ONTAP Select イメージを追加します"する必要があります。

3. 本番環境への導入のためのONTAP Selectのライセンス

   本番環境にONTAP Selectクラスタを導入する前に、ストレージ容量ライセンスを購入し、関連するライセンスファイルをダウンロードする必要があります。"各ノードのストレージにライセンスを付与する"_Capacity Tiers_モデルを使用するか、_Capacity Pools_モデルを使用して共有プールにライセンスを付与できます。

ステップ**2**：ライセンスファイルをアップロードして登録する

ストレージ容量付きのライセンスファイルを取得したら、ライセンスを含むファイルをDeploy仮想マシンにアップロードして登録する必要があります。

評価目的のみでクラスタをデプロイする場合は、この手順をスキップできます。

開始する前に

管理者ユーザーアカウントのパスワードが必要です。

手順

1. ローカルワークステーションのコマンドシェルで、sftpユーティリティを使用してライセンスファイルをDeploy仮想マシンにアップロードします。

   出力例：

   ```
   sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
   put NLF-320000nnn.txt
   exit
   ```

2. SSHを使用して、管理者アカウントでデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
3. ライセンスを登録する：

   ```
   license add -file-name <file_name>
   ```

   プロンプトが表示されたら、管理者アカウントのパスワードを入力します。

4. ライセンスが正しく追加されたことを確認するために、システム内のライセンスを表示します：

```
license show
```

ステップ3：ハイパーバイザーホストを追加する

ONTAP Select ノードを実行する各ハイパーバイザーホストを登録する必要があります。

KVM

ONTAP Selectノードが実行されるハイパーバイザーホストを登録する必要があります。このプロセスの一環として、Deploy管理ユーティリティはKVMホストに対して認証を行います。

タスク概要

複数のハイパーバイザーホストが必要な場合は、この手順を使用して各ホストを追加してください。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ホストを登録する：

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type KVM -username
<KVM_username>
```

出力例：

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type KVM -username root
```

プロンプトが表示されたら、ホストアカウントのパスワードを入力してください。

3. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例：

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ESXi

この一環として、Deploy管理ユーティリティは、ホストを管理するvCenterサーバー、またはESXiスタンドアロンホストに直接認証します。

タスク概要

vCenterで管理されているホストを登録する前に、vCenterサーバの管理サーバアカウントを追加する必要があります。ホストがvCenterで管理されていない場合は、ホストの登録時にホストのクレデンシャルを指定できます。この手順 を使用して各ホストを追加してください。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ホストがvCenterサーバーで管理されている場合は、vCenterアカウントのクレデンシャルを追加します：

```
credential add -hostname <FQDN|IP> -type vcenter -username
<vcenter_username>
```

出力例：

```
credential add -hostname vc.select.company-demo.com -type vcenter
-username administrator@vsphere.local
```

3. ホストを登録する：
   - vCenterで管理されていないスタンドアロン ホストを登録します：

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -username
<esx_username>
```

   - vCenterで管理されているホストを登録：

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -mgmt-server
<FQDN|IP>
```

出力例：

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type ESX -mgmt-server
vc.select.company-demo.com
```

4. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例：

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ステップ4：ONTAP Selectクラスタを作成して設定する

ONTAP Selectクラスタを作成してから設定する必要があります。クラスタの設定が完了したら、個々のノードを設定できます。

開始する前に

クラスタに含まれるノードの数を決定し、関連する構成情報を用意します。

タスク概要

ONTAP Selectクラスタを作成すると、Deployユーティリティは、指定したクラスタ名とノード数に基づいてノード名を自動的に生成します。Deployでは、一意のノード識別子も生成されます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. クラスタを作成します。

   ```
   cluster create -name <cluster_name> -node-count <count>
   ```

   出力例：

   ```
   cluster create -name test-cluster -node-count 1
   ```

3. クラスタを設定します：

   ```
   cluster modify -name <cluster_name> -mgmt-ip <IP_address> -netmask
   <netmask> -gateway <IP_address> -dns-servers <FQDN|IP>_LIST -dns-domains
   <domain_list>
   ```

   出力例：

   ```
   cluster modify -name test-cluster -mgmt-ip 10.234.81.20 -netmask
   255.255.255.192
   -gateway 10.234.81.1 -dns-servers 10.221.220.10 -dnsdomains
   select.company-demo.com
   ```

4. クラスタの構成とステータスを表示します：

```
cluster show -name <cluster_name> -detailed
```

ステップ5：ONTAP Selectノードを設定する

ONTAP Select クラスタ内の各ノードを設定する必要があります。

開始する前に

- ノードの設定情報が揃っていることを確認してください。
- Capacity TierまたはCapacity Poolのライセンスファイルがデプロイユーティリティにアップロードされ、インストールされていることを確認してください。

タスク概要

各ノードの設定には、この手順を使用してください。この例では、ノードに容量ティアライセンスが適用されています。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. クラスタノードに割り当てられた名前を特定します：

```
node show -cluster-name <cluster_name>
```

3. ノードを選択し、基本設定を実行します。

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -host-name
<FQDN|IP> -license-serial-number <number> -instance-type TYPE
-passthrough-disks false
```

出力例：

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -host-name
10.234.81.14
-license-serial-number 320000nnnn -instance-type small -passthrough
-disks false
```

ノードのRAID構成は、_passthrough-disks_パラメータで指定されます。ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用している場合、この値は「false」でなければなりません。ソフトウェアRAIDを使用している場合は、この値を「true」に設定する必要があります。

容量ティアライセンスは、ONTAP Selectノードに使用されます。

4. ホストで使用可能なネットワーク構成を表示します：

```
host network show -host-name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例：

```
host network show -host-name 10.234.81.14 -detailed
```

5. ノードのネットワーク設定を実行します：

ESXi ホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip
IP -management-networks <network_name> -data-networks <network_name>
-internal-network <network_name>
```

KVMホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip
IP -management-vlans <vlan_id> -data-vlans <vlan_id> -internal-vlans
<vlad_id>
```

シングルノード クラスタを展開する際、内部ネットワークは不要なので、「-internal-network」を削除してください。

出力例：

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -mgmt-ip
10.234.81.21
-management-networks sDOT_Network -data-networks sDOT_Network
```

6. ノードの設定を表示します：

```
node show -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -detailed
```

出力例：

```
node show -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -detailed
```

ステップ6：ストレージをONTAP Selectノードに接続

ONTAP Selectクラスタ内の各ノードで使用されるストレージを構成します。すべてのノードには、常に少なくとも1つのストレージプールが割り当てられていなければなりません。ソフトウェアRAIDを使用する場合、各ノードには少なくとも1台のディスクドライブを割り当てる必要があります。

開始する前に

VMware vSphereを使用してストレージプールを作成します。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、少なくとも1台の利用可能なディスクドライブが必要です。

タスク概要

ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用する場合は、手順1～4を実行する必要があります。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、手順1～6を実行する必要があります。

手順

1. 管理者アカウントの認証情報を使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ホストで使用可能なストレージプールを表示します：

   ```
   host storage pool show -host-name <FQDN|IP>
   ```

   出力例：

   ```
   host storage pool show -host-name 10.234.81.14
   ```

   VMware vSphereを通じて利用可能なストレージプールを取得することもできます。

3. 利用可能なストレージプールをONTAP Selectノードに接続します：

   ```
   node storage pool attach -name <pool_name> -cluster-name <cluster_name>
   -node-name <node_name> -capacity-limit <limit>
   ```

   「-capacity-limit」パラメータを含める場合は、値をGBまたはTBで指定してください。

   出力例：

   ```
   node storage pool attach -name sDOT-02 -cluster-name test-cluster -
   node-name test-cluster-01 -capacity-limit 500GB
   ```

4. ノードに接続されているストレージプールを表示します：

   ```
   node storage pool show -cluster-name <cluster_name> -node-name
   ```

```
<node_name>
```

出力例：

```
node storage pool show -cluster-name test-cluster -node-name
testcluster-01
```

5. ソフトウェアRAIDを使用している場合は、使用可能なドライブを接続します。

```
node storage disk attach -node-name <node_name> -cluster-name
<cluster_name> -disks <list_of_drives>
```

出力例：

```
node storage disk attach -node-name NVME_SN-01 -cluster-name NVME_SN
-disks 0000:66:00.0 0000:67:00.0 0000:68:00.0
```

6. ソフトウェアRAIDを使用している場合は、ノードに接続されているディスクを表示します。

```
node storage disk show -node-name <node_name> -cluster-name
<cluster_name>`
```

出力例：

```
node storage disk show -node-name sdot-smicro-009a -cluster-name NVME
```

ステップ7：ONTAP Selectクラスタを導入する

クラスタとノードの設定が完了したら、クラスタを導入できます。

開始する前に

"Web UI"または"CLI"を使用してネットワーク接続チェッカーを実行し、内部ネットワーク上のクラスタノード間の接続を確認します。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ONTAP Select クラスタを導入します。

```
cluster deploy -name <cluster_name>
```

出力例：

```
cluster deploy -name test-cluster
```

プロンプトが表示されたら、ONTAP管理者アカウントに使用するパスワードを入力します。

3. クラスタのステータスを表示して、正常にデプロイされたかどうかを確認します：

```
cluster show -name <cluster_name>
```

次の手順

"ONTAP Select Deploy構成データをバックアップする"。

ONTAP Select 導入環境のセキュリティ保護

コマンドラインインターフェイスを使用して、必要に応じて Deploy 仮想マシンの管理者アカウントのパスワードを変更することで、ONTAP Select の展開環境をセキュリティで保護できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、デプロイユーティリティのCLIにサインインしてください。
2. パスワードを変更してください：
   `password modify`
3. 環境に応じて、すべてのプロンプトに適切に対応してください。

ONTAP Select ノード間のネットワーク接続を確認する

内部クラスタネットワーク上の2つ以上のONTAP Selectノード間のネットワーク接続をテストできます。通常、このテストはマルチノードクラスタを導入する前に実行し、処理が失敗する原因となる可能性のある問題を検出します。

開始する前に

テストに含まれるすべてのONTAP Selectノードは、設定が完了し、電源が投入されている必要があります。

タスク概要

テストを開始するたびに、バックグラウンドで新しいプロセス実行が作成され、一意の実行識別子が割り当てられます。同時にアクティブにできるのは1つの実行のみです。

このテストには、動作を制御する2つのモードがあります：

- クイックこのモードは、基本的な無停止テストを実行します。PINGテストが実行され、ネットワークMTUサイズとvSwitchのテストも実行されます。
- 拡張モードでは、すべての冗長ネットワークパスに対してより包括的なテストが実行されます。アクティ

ブなONTAP Selectクラスタでこれを実行すると、クラスタのパフォーマンスに影響が及ぶ可能性があります。

マルチノードクラスタを作成する前に、必ずクイックテストを実施することをお勧めします。クイックテストが正常に完了した後、必要に応じて、本番環境の要件に基づいた拡張テストを実行できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、デプロイユーティリティのCLIにサインインしてください。
2. ネットワーク接続チェッカーの現在の実行状況を表示し、アクティブな実行がないことを確認します：

   ```
   network connectivity-check show
   ```

3. ネットワーク接続チェッカーを起動し、コマンド出力に表示される実行識別子をメモしてください：

   ```
   network connectivity-check start -host-names HOSTNAMES -vswitch-type
   VSWITCH_TYPE-mode MODE
   ```

   例

   ```
   network connectivity-check start -host-names 10.234.81.14
   10.234.81.15 -vswitch-type StandardVSwitch -mode quick
   ```

4. 実行識別子に基づいて、ネットワーク接続チェッカーの進行状況を監視します：

   ```
   network connectivity-check show -run-id RUN_ID
   ```

終了後の操作

ネットワーク接続チェッカーは通常、ONTAP-Internalポートグループに追加された一時的なポートとIPアドレスを削除することでクリーンアップを行います。ただし、接続チェッカーが一時ポートを削除できない場合は、オプション `-mode cleanup`を指定してCLIコマンドを再実行し、手動でクリーンアップ操作を実行する必要があります。ONTAP-Internalポートグループから一時ポートを削除しない場合、ONTAP Select仮想マシンが正常に作成されない可能性があります。

CLI を使用した ONTAP Select クラスタの管理

CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理するために実行できる関連タスクがいくつかあります。

ONTAP Select Deploy構成データをバックアップする

ONTAP Select Deploy構成データのバックアップ（例：クラスタのデプロイ後）。データは暗号化された単一のファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作成するバックアップファイルには、すべての設定データが保存されます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む、導入環境の側面を記述しています。

開始する前に

バックアップ操作中に Deploy が他のタスクを実行していないことを確認してください。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSHでONTAP Select DeployユーティリティCLIにサインインします。
2. ONTAP Select Deployサーバの内部ディレクトリに保存されているONTAP Select Deploy構成データのバックアップを作成します：

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップ用のパスワードを入力してください。

   バックアップファイルはパスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します：

```
deploy backup show -detailed
```

5. **Created** フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、 **Download URL** の値を記録します。

   バックアップファイルには、URLからアクセスできます。

6. ウェブブラウザまたはCurlなどのユーティリティを使用して、URLからバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードしてください。

ONTAP Selectクラスタを削除する

不要になったONTAP Selectクラスタは削除できます。

開始する前に

クラスターはオフライン状態である必要があります。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、Deploy仮想マシンのCLIにサインインします。
2. クラスタのステータスを表示します：

```
cluster show -name <cluster_name>
```

3. クラスタがオフラインでない場合は、オフライン状態に移行します。

```
cluster offline -name <cluster_name>
```

4. クラスタのステータスがオフラインであることを確認したら、クラスタを削除します：

```
cluster delete -name <cluster_name>
```

ノードとホスト

ONTAP Select 用に VMware ESXi 8.0 以降にアップグレード

VMware ESXi で ONTAP Select を実行している場合は、以前のサポート対象バージョンから ESXi 8.0 以降に ESXi ソフトウェアをアップグレードできます。アップグレードを行う前に、そのプロセスを理解し、適切なアップグレード手順を選択する必要があります。

VMware ESXiのアップグレードの準備

ONTAP Select クラスタをホストしているハイパーバイザー上の ESXi ソフトウェアをアップグレードする前に、環境に適したアップグレード手順を準備して選択します。

手順

1. VMware ESXiのアップグレード方法を理解しておきましょう。

   ESXiソフトウェアのアップグレードは、VMwareが説明し、サポートしている手順です。ハイパーバイザーのアップグレードプロセスは、ONTAP Select使用時のより大きなアップグレード手順の一部です。詳細については、VMwareのドキュメントを参照してください。

2. * アップグレード手順を選択してください *

   アップグレード手順は複数用意されています。以下の基準に基づいて、適切な手順を選択してください：

   - ONTAP Select クラスタのサイズ

     シングルノードクラスタとマルチノードクラスタの両方がサポートされています。

   - ONTAP Select Deploy の使用

     アップグレードは、 Deploy ユーティリティを使用する場合と使用しない場合の両方で可能です。

     

     Deploy管理ユーティリティを使用するアップグレード手順を選択してください。

     Deploy管理ユーティリティを使用してESXiのアップグレードを実行する方が、より汎用的で回復力の高い方法です。ただし、Deployが利用できない、または使用できない場合もあります。たとえば、ESXi 8.0へのアップグレードは、以前のバージョンのONTAP SelectおよびDeploy管理ユーティリティではサポートされていません。

   以前のバージョンを使用していてアップグレードを試みる場合は、ONTAP Select仮想マシンが起動できない状態になります。この場合、Deployを使用しないアップグレード手順を選択する必要があります。

3. **Deploy** 管理ユーティリティをアップグレードする

   Deployユーティリティを使用してアップグレード手順を実行する前に、Deployインスタンスをアップグレ

ードする必要がある場合があります。一般的には、Deployを最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。Deployユーティリティは、使用しているONTAP Selectのバージョンをサポートする必要があります。詳細については、"ONTAP Selectリリースノート"を参照してください。

4. 更新手順の完了後

   Deployユーティリティを使用するアップグレード手順を選択した場合は、すべてのノードのアップグレードが完了した後、Deployを使用してクラスタのリフレッシュ操作を実行する必要があります。詳細については、「Deployクラスタ構成のリフレッシュ」を参照してください。

Deploy を使用してシングルノード クラスタをアップグレードする

ONTAP Select シングルノード クラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードする手順の一部として、Deploy 管理ユーティリティを使用できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ノードをオフライン状態に移行します：

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザーホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。
4. ノードをオンライン状態に移行します：

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

5. ノードが起動したら、クラスタが正常であることを確認してください。

   例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node            Health  Eligibility
--------------- ------- ------------
sdot-d200-011d true    true
```

終了後の操作

Deploy 管理ユーティリティを使用して、クラスタの更新操作を実行する必要があります。

Deploy を使用してマルチノード クラスタをアップグレードする

ONTAP Select マルチノード クラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードする手順の一部として、Deploy 管理ユーティリティを使用できます。

タスク概要

このアップグレード手順は、クラスター内の各ノードに対して、1ノードずつ実行する必要があります。クラスターに4つ以上のノードが含まれている場合は、次のHAペアに進む前に、各HAペアのノードを順番にアップグレードする必要があります。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. ノードをオフライン状態に移行します：

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザーホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。

   詳細については、「VMware ESXi のアップグレード準備」を参照してください。

4. ノードをオンライン状態に移行します：

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

5. ノードが起動したら、ストレージフェイルオーバーが有効になっていること、およびクラスタが正常であることを確認してください。

   ▼ 例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-------------- -------------- -------- ---------------------------
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.
ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
--------------------- ------- ------------
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

終了後の操作

ONTAP Select クラスタで使用される各ホストに対してアップグレード手順を実行する必要があります。すべての ESXi ホストのアップグレードが完了したら、 Deploy 管理ユーティリティを使用してクラスタのリフレッシュ操作を実行する必要があります。

Deploy を使用せずにシングルノード クラスタをアップグレードする

Deploy管理ユーティリティを使用せずに、ONTAP Selectシングルノード クラスタをホストしているVMware ESXiハイパーバイザーをアップグレードできます。

手順

1. ONTAPのコマンドラインインターフェイスにサインインして、ノードを停止します。
2. VMware vSphere を使用して、ONTAP Select 仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。
3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザーホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。

   詳細については、「VMware ESXi のアップグレード準備」を参照してください。

4. VMware vSphereを使用して、vCenterにアクセスし、次の操作を実行します：
   a. ONTAP Select 仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
   b. ONTAP Select 仮想マシンの電源をオンにします。
   c. 管理者アカウントを使用して、SSHでONTAP CLIにサインインします。
5. ノードが起動したら、クラスタが正常であることを確認してください。

   例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node            Health  Eligibility
--------------- ------- ------------
sdot-d200-011d true    true
```

終了後の操作

Deploy 管理ユーティリティを使用して、クラスタの更新操作を実行する必要があります。

Deployを使用せずにマルチノードクラスタをアップグレードする

Deploy 管理ユーティリティを使用せずに、ONTAP Select マルチノードクラスタをホストしている VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードできます。

タスク概要

このアップグレード手順は、クラスター内の各ノードに対して、1ノードずつ実行する必要があります。クラスターに4つ以上のノードが含まれている場合は、次のHAペアに進む前に、各HAペアのノードを順番にアップグレードする必要があります。

手順

1. ONTAPのコマンドラインインターフェイスにサインインして、ノードを停止します。
2. VMware vSphere を使用して、ONTAP Select 仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。
3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザーホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。

4. VMware vSphereを使用して、vCenterにアクセスし、次の操作を実行します：
   a. ONTAP Select 仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
   b. ONTAP Select 仮想マシンの電源をオンにします。
   c. 管理者アカウントを使用して、SSHでONTAP CLIにサインインします。
5. ノードが起動したら、ストレージフェイルオーバーが有効になっていること、およびクラスタが正常であることを確認してください。

   ▼ 例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-------------- -------------- -------- --------------------------
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.
ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
--------------------- ------- ------------
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

終了後の操作

ONTAP Select クラスタで使用される各ホストに対してアップグレード手順を実行する必要があります。

ONTAP Select Deploy のホスト管理サーバーを変更する

`host modify`コマンドを使用すると、このONTAP Select Deployインスタンスでホスト管理サーバーを変更できます。

構文

```
host modify [-help] [-foreground] -name name -mgmt-server management_server [-username username]
```

必須パラメータ

パラメータ	説明
`-name name`	変更するホストのIPアドレスまたはFQDN。

`-mgmt-server` *management_server*	ホストに設定するホスト管理サーバーのIPアドレスまたはFQDN。ホストから管理サーバーの設定を解除するには、「-」（ハイフン）を指定します。この管理サーバーのクレデンシャルは、 `credential add`コマンドを使用してこのホストを登録する前に追加する必要があります。

オプションのパラメータ

パラメータ	説明
`-help`	ヘルプメッセージを表示します。
`-foreground`	このパラメータは、長時間実行されるコマンドの動作を制御します。設定されている場合、コマンドはフォアグラウンドで実行され、操作に関連するイベントメッセージは発生次第表示されます。
`-username` *username*	このホストにアクセスできるユーザー名。これは、ホストが管理サーバーによって管理されていない場合（つまり、vCenterによって管理されているESXiホスト）にのみ必要です。

Deploy ユーティリティ

ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする

ONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI を使用して、既存の ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンをインプレースでアップグレードします。

ONTAP Select Deploy 9.18.1または9.17.1からONTAP Select Deploy 9.19.1に直接アップグレードできます。たとえば、ONTAP Select Deploy 9.16.1などの以前のリリースからアップグレードするには、まずONTAP Select Deploy 9.17.1または9.18.1にアップグレードしてから、ONTAP Select Deploy 9.19.1にアップグレードする必要があります。

ONTAP Select Deploy管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、最新リリースにアップグレードする必要があります。ONTAP SelectノードとONTAP Select Deployコンポーネントは個別にアップグレードします。詳細については、"ONTAP Select ノードをアップグレードする"を参照してください。

開始する前に

アップグレード中にONTAP Select Deployが他のタスクの実行に使用されていないことを確認します。

ステップ**1**：アップグレードパッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、NetApp Support SiteからONTAP Select Deployアップグレードファイルをダウンロードします。アップグレードパッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. "NetApp Support Site ダウンロード"ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして*ONTAP Select Deploy*を選択してください。

3. 希望する ONTAP Select バージョンを選択してください。
4. エンドユーザー使用許諾契約（EULA）を確認し、*Accept & Continue*を選択してください。
5. 適切な*ONTAP Select Deploy Upgrade*パッケージを選択してダウンロードします。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ**2**：パッケージを**ONTAP Select Deploy**仮想マシンにアップロードする

パッケージをダウンロードしたら、ONTAP Select Deploy仮想マシンにファイルをアップロードする必要があります。

タスク概要

このタスクでは、ONTAP Select Deploy仮想マシンにファイルをアップロードする1つの方法について説明します。ご使用の環境により適した他のオプションがある可能性があります。

開始する前に

- アップグレード ファイルがローカル ワークステーションで使用可能であることを確認します。
- 管理者ユーザーアカウントのパスワードがあることを確認します。

手順

ローカルワークステーションのコマンドシェルで、 `scp`（Secure Copy Protocol）ユーティリティを使用して、次の例に示すように、画像ファイルをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードします：

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレードファイルは、admin ユーザーのホームディレクトリに保存されます。

ステップ**3**：アップグレードパッケージを適用する

アップグレードファイルをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードした後、アップグレードを適用できます。

開始する前に

- ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンで、アップグレードファイルが配置されているディレクトリを確認します。
- アップグレードの実行中は、ONTAP Select Deployが他のタスクの実行に使用されていないことを確認してください。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSHでONTAP Select DeployユーティリティCLIにサインインします。
2. 適切なディレクトリパスとファイル名を使用してアップグレードを実行します：

```
deploy upgrade -package-path <file_path>
```

コマンド例：

```
deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
```

終了後の操作

アップグレード手順が完了する前に、ONTAP Select Deploy仮想マシン構成のバックアップを作成するように求められます。また、新しく作成されたONTAP Select Deployページを表示するには、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する

コマンドラインインターフェイスを使用して、既存のDeploy管理ユーティリティのインスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの構成データを使用する新しい仮想マシンを作成することに基づいています。新規仮想マシンと既存仮想マシンは、同じバージョンおよびリリースのDeployユーティリティを実行する必要があります。Deployユーティリティの別のバージョンやリリースに移行することはできません。

ステップ1：Deploy構成データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、デプロイ構成データのバックアップを作成する必要があります。ONTAP Selectクラスタの導入後にもバックアップを作成する必要があります。データは暗号化された単一のファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

開始する前に

- バックアップ操作中に Deploy が他のタスクを実行していないことを確認してください。
- 元のDeploy仮想マシンイメージを保存します。

> 元のDeploy仮想マシンイメージは、この手順の後半で、元の仮想マシンから新しい仮想マシンにDeploy構成データを復元する際に必要になります。

タスク概要

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての構成データが保存されます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む、導入環境の側面を記述しています。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deploy サーバーの内部ディレクトリに保存されている Deploy 構成データのバックアップを作成します：

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップ用のパスワードを入力してください。

   バックアップファイルはパスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します：

```
deploy backup show -detailed
```

5. **Created** フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、 **Download URL** の値を記録します。

   バックアップファイルには、URLからアクセスできます。

6. ウェブブラウザまたはCurlなどのユーティリティを使用して、URLからバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードしてください。

ステップ2：Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールします

Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成し、元の仮想マシンの構成データで更新する必要があります。

開始する前に

VMware環境でONTAP Select Deploy仮想マシンをダウンロードして導入するために使用される手順に精通している必要があります。

タスク概要

このタスクは概要レベルで説明されています。

手順

1. Deploy仮想マシンの新しいインスタンスを作成します：
   a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
   b. 仮想マシンを導入し、ネットワークインターフェイスを設定します。
   c. SSH を使用して Deploy ユーティリティにアクセスします。

関連情報

"ONTAP Select Deployのインストール"

ステップ3：Deploy構成データを新しい仮想マシンにリストアする

元の Deploy ユーティリティ仮想マシンから新しい仮想マシンに構成データを復元する必要があります。データは単一のファイルに格納されているため、ローカルワークステーションからアップロードする必要があります。

開始する前に

以前のバックアップから構成データを取得する必要があります。データは単一のファイルに格納されており、ローカルワークステーション上に存在している必要があります。

手順

1. ローカルワークステーションのコマンドシェルで、次の例に示すように、sftpユーティリティを使用してバックアップファイルをDeploy仮想マシンにアップロードします：

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
3. 設定データを復元する：

```
deploy backup restore -path <path_name> -filename <file_name>
```

コマンド例：

```
deploy backup restore -path /home/admin -filename
deploy_backup_20180601162151.tar.gz
```

ONTAP SelectイメージをDeployに追加

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加します。イメージをインストールしたら、 ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

開始する前に

新しいONTAP Selectイメージをデプロイに追加する前に、まず不要なイメージを削除する必要があります。

> ⓘ 追加するONTAP Selectイメージのバージョンは、お使いのDeployユーティリティのインスタンスに付属しているオリジナルバージョンよりも古いバージョンのみにしてください。NetAppから入手可能になった新しいバージョンのONTAP Selectを追加することは、サポートされていない構成です。

ステップ**1**：インストールイメージをダウンロードする

Deployユーティリティのインスタンスに**ONTAP Select**イメージを追加するプロセスを開始するには、NetApp Support Siteからインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAP Selectのインストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. "NetApp Support Site ダウンロード"ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして、* ONTAP Select Image *を選択します。
3. インストールイメージの目的のリリースを選択します。
4. エンドユーザー使用許諾契約（EULA）を確認し、*Accept & Continue*を選択してください。
5. 適切な*ONTAP Select Image Install*パッケージを選択してダウンロードしてください。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ**2**：インストールイメージを**Deploy**にアップロードする

ONTAP Selectインストールイメージを取得したら、ファイルをDeploy仮想マシンにアップロードする必要が

あります。

開始する前に

ローカルワークステーションにインストールイメージファイルがあることを確認します。Deploy 管理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

タスク概要

このタスクでは、ファイルをDeploy仮想マシンにアップロードする1つの方法について説明します。環境によっては、他にも適した方法がある場合があります。

手順

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、次の例に示すように、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします：

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide
password when prompted)
```

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードのインストールファイルは、adminユーザーのホームディレクトリに保存されます。

ステップ**3**：インストールイメージを追加する

新しいクラスタを導入する際に使用できるように、ONTAP Select インストールイメージを Deploy images ディレクトリに追加します。

開始する前に

Deployユーティリティ仮想マシンで、インストールイメージファイルがどのディレクトリに配置されているかを把握しておく必要があります。ファイルは管理者のホームディレクトリにあるものと想定されます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Bashシェルを起動します：

```
shell bash
```

3. 次の例に示すように、インストールイメージファイルを images ディレクトリに配置します：

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

ステップ**4**：利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスタを導入する際に使用可能な ONTAP Select イメージを表示します。

手順

1. Deployユーティリティ仮想マシン上のオンラインドキュメントWebページにアクセスし、管理者（admin）アカウントを使用してサインインしてください：

   ```
   http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui
   ```

   Deploy仮想マシンのドメイン名またはIPアドレスを使用します。

2. ページの下部に移動して **Deploy** を選択し、次に **GET /images** を選択します。
3. *試してみる！*を選択すると、利用可能なONTAP Selectイメージが表示されます。
4. 目的の画像が利用可能であることを確認してください。

DeployからONTAP Selectイメージを削除

不要になったONTAP Selectイメージは、Deploy管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。

> クラスタで使用されているONTAP Selectイメージは削除しないでください。

タスク概要

現在クラスタで使用されていない、または将来のクラスタ展開で使用する予定のない古い ONTAP Select イメージを削除できます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deployで管理されているクラスタを表示し、使用中のONTAPイメージを記録します。

   ```
   cluster show
   ```

   各ケースのバージョン番号とハイパーバイザープラットフォームをメモします。

3. Bashシェルを起動します：

   ```
   shell bash
   ```

4. 利用可能なすべてのONTAP Selectイメージを表示します：

   ```
   ls -lh /opt/netapp/images
   ```

5. 必要に応じて、ハイパーバイザー ホストから ONTAP Select イメージを削除します。

ESXiの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタの**ONTAP Select Deploy**ユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deployユーティリティが何らかの理由で障害が発生したり使用できなくなったりすると、ONTAP Selectノードとクラスタを管理する機能が失われます。さらに、Deployに含まれるメディエーターサービスが使用できないため、すべての2ノードクラスタはHA機能を失います。回復不能な障害が発生した場合は、管理機能とHA機能を復元するために、Deployユーティリティインスタンスをリカバリする必要があります。

Deployユーティリティをリカバリする準備をします

Deployユーティリティのインスタンスのリカバリを試みる前に、成功を確実にするための準備が必要です。いくつかの管理手順に精通し、必要な情報を持っている必要があります。

手順

1. ハイパーバイザー環境にONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスをインストールできることを確認してください。

   "ONTAP Select Deployユーティリティのインストールについて学ぶ"

2. ONTAP Selectクラスタにログインし、ONTAPクラスタシェル（CLI）にアクセスできることを確認してください。
3. ONTAP Select 2ノードクラスタを含む、障害が発生したDeployユーティリティインスタンスからの構成データのバックアップがあるかどうかを確認します。クラスタを含まないバックアップがある可能性があります。
4. 使用するリカバリ手順に応じて、Deploy構成データのバックアップをリストアできることを確認します。

   "Deploy構成データを新しい仮想マシンにリストアする方法について説明します"

5. 障害が発生した元のDeployユーティリティ仮想マシンのIPアドレスを確認しておきます。
6. Capacity PoolsライセンスとCapacity Tiersライセンスのどちらが使用されているかを判断します。Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、Deployインスタンスの復旧または復元後に、各Capacity Poolsライセンスを再インストールする必要があります。
7. ONTAP Select Deployユーティリティのインスタンスをリカバリする際に使用する手順を決定します。ONTAP Select 2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeployユーティリティからの設定データのバックアップがあるかどうかに基づいて判断します。

2ノードクラスタを含む**Deploy**バックアップはありますか？	リカバリ手順を使用してください…
はい	構成バックアップを使用してDeployユーティリティインスタンスをリストアする
×	Deployユーティリティインスタンスを再構成して復旧する

構成バックアップを使用して**Deploy**ユーティリティインスタンスをリストアする

2ノードクラスタを含む障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがある場合は、構成データを新しいDeploy仮想マシンインスタンスにリストアできます。次に、ONTAP Selectクラスタ内の2つのノードの追加設定を実行してリカバリを完了する必要があります。

開始する前に

2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeploy仮想マシンから構成データをバックアップします。2ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

タスク概要

復元する構成バックアップには2ノードクラスタが含まれているため、メディエーターiSCSIターゲットとメールボックスは、新しいDeployユーティリティ仮想マシン内に再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスを準備します：
   a. 新しいDeployユーティリティ仮想マシンをインストールします。
   b. 以前のバックアップから新しい仮想マシンにDeploy構成をリストアします。

      インストールおよびリストア手順の詳細については、関連タスクを参照してください。
2. ONTAP Select 2ノードクラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスが元のDeploy仮想マシンのIPアドレスと異なる場合は、古いメディエーターiSCSIターゲットを削除し、新しいターゲットを追加します：

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

`<ip_address>`パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できます。

5. メディエーターディスクの名前を特定します：

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>

disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージ フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、各Capacity Poolライセンスを再インストールしてください。詳細については、"容量プールライセンスを再インストールする"を参照してください。

Deployユーティリティインスタンスを再構成して復旧する

2ノードクラスタを含む障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがない場合は、新しいDeploy仮想マシンでメディエータiSCSIターゲットとメールボックスを設定します。次に、ONTAP Selectクラスタ内の2つのノードの追加設定を実行してリカバリを完了します。

開始する前に

新しいDeployユーティリティインスタンスのメディエーターターゲットの名前を把握していることを確認します。2ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

タスク概要

2ノードクラスタが含まれていない場合でも、必要に応じて新しいDeploy仮想マシンに構成バックアップをリストアできます。リストア時に2ノードクラスタは再作成されないため、DeployのONTAP Selectオンラインドキュメントページから、メディエーターのiSCSIターゲットとメールボックスを新しいDeployユーティリティインスタンスに手動で追加する必要があります。2ノードクラスタにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

回復手順の目標は、2ノードクラスタを正常なHAテイクオーバーおよびギブバック処理を実行できる健全な状態に復元することです。

手順

1. ONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスを準備します：
   a. 新しいDeployユーティリティ仮想マシンをインストールします。
   b. 必要に応じて、以前のバックアップから Deploy 構成を新しい仮想マシンにリストアします。

      以前のバックアップを復元すると、新しい Deploy インスタンスには2ノードクラスタが含まれません。インストールおよび復元手順の詳細については、関連情報セクションを参照してください。
2. ONTAP Select 2ノードクラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. 高度な特権モードに入ります：

```
set adv
```

4. メディエーターのiSCSIターゲット名を取得します：

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のオンラインドキュメントWebページにアクセスし、adminアカウントを使用してサインインしてください：

   `http://<ip_address>/api/ui`

   Deploy仮想マシンのIPアドレスを使用する必要があります。
6. *Mediator*を選択し、次に*GET /mediators*を選択します。
7. **Try it out!** を選択すると、Deploy が管理するメディエーターの一覧が表示されます。

   目的のメディエーターインスタンスのIDをメモしてください。
8. * Mediator * を選択してから * POST * を選択します。
9. mediator_idの値を指定してください。
10. `iscsi_target`の横にある*モデル*を選択し、名前の値を入力します。

    iqn_name パラメータにはターゲット名を使用してください。
11. **Try it out!** を選択して、メディエーターiSCSIターゲットを作成します。

    リクエストが成功した場合、HTTPステータスコード200が返されます。
12. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、 ONTAP CLI を使用して古いメディエーター iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります：

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-
target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

`<ip_address>`パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できます。

13. メディエーターディスクの名前を特定します：

```
disk show -container-type mediator
```

14. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>

disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

15. ストレージ フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、各Capacity Poolライセンスを再インストールしてください。詳細については、"容量プールライセンスを再インストールする"を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。